

アクロポリスの 丘の麓から

—ギリシア古喜劇を読む—



人間への眼差し、人間心理への飽くなき追求。

おおよそ2400年前の作品でありながら、色褪せることなく私たちを引きつけるギリシア劇。

時代の風雪に耐え、これまで残ってきた不朽の名作群を紐解きながら、《人間存在をどのようにとらえるか》・《いかにして自らが、より精神的豊かさを携えて、生きるか》をテーマに、ギリシア劇をもっと深く学んでみたいと思い、この勉強会を企画しました。

8年目を迎える今年は、ギリシア喜劇を取り上げます。政治家への揶揄・社会風刺などを扱ったこれらの作品を、当時の政治状況や社会問題と照らし合わせながら学んでいきます。

オンラインでの実施に加え、アーカイブ視聴ができますので、時間と場所を問わず参加しやすくなっています。

初めての方でも入りやすい講座です。どなた様もふるってご参加ください。

田中孝弥

アクロポリスの 丘の麓から

—ギリシア古喜劇を読む—

レクチャーの概要(全12回 ※1回のみ参加も受け付けております。)

第1回 4月2日(火) ギリシア喜劇とは何か?

① 歴史的背景 ② 起源 ③ アッティカ古喜劇の構造

第2回 4月16日(火) 喜劇作家アリストパネス——人と作品

第3回 5月7日(火) アリストパネス『アカルナイの人々』(前425年)

第4回 5月21日(火) アリストパネス『騎士』(前424年)

第5回 6月11日(火) アリストパネス『雲』(前423年)

第6回 6月25日(火) アリストパネス『蜂』(前422年)

第7回 7月9日(火) アリストパネス『平和』(前421年)

第8回 7月23日(火) アリストパネス『鳥』(前414年)

第9回 8月20日(火) ★古代ギリシアの食文化——1泊研修旅行

(この回は対面講座のみ実施。オンラインでの受講はできません。)

第10回 11月12日(火) アリストパネス『リュストラテ(女の平和)』(前411年)

第11回 11月26日(火) アリストパネス『テスモポリア祭を営む女たち(女だけの祭り)』(前411年)

第12回 12月10日(火) アリストパネス『蛙』(前405年)

「人間いかに生きるべきか」は、われら永遠の課題です。すでに、前5世紀のギリシア人は、悲劇作品を通じてそれを解き明かそうとしました。喜劇作品も同じです。前5世紀のアテナイ市民たちのさまざまな生活ぶりを描いて、その真の在り方を探っています。愚劣にして虚飾に満ちた数々の様相を提示して、作家も観客も互いに認知し合い、笑い合い、怒り、泣こうというわけです。掲げるべきスローガンは「人間いかに生きているか」となります。そこには政治、経済、宗教が、さらにはより厄介な人間の五慾が絡んできます。隣人のヘマは笑いの種、ご期待ください。

陽は陰る唐黍の葉がこそと鳴る(朱呑子)

丹下和彦

■講師:丹下 和彦(大阪市立大学名誉教授・古代ギリシア文学者)

■レクチャーの形態:オンライン講座(各回前日までに<Zoomのアドレス>をお送りします。)

※翌日から1週間、アーカイブ視聴ができます。

■時間:19時~21時30分(途中休憩あり)

■料金:1回1,650円(税込み)

■対象:演劇経験不問(ギリシア劇を学びたい方ならどなたでも歓迎いたします。)

■お申し込み方法:

【クレジットカード/PayPayをご利用の場合】

PassMarketより「清流劇場」を検索し、ご購入ください。〈購入/申込完了〉の自動返信メールをお送りします。



第1回~第8回のレクチャーをご希望の方

左記、QRコードよりご購入ください。



第9回~第12回のレクチャーをご希望の方

左記、QRコードよりご購入ください。

【銀行振込の場合】



清流劇場ウェブサイト内の「ご予約フォーム」より必要事項をお知らせください。

〈振込先口座のご案内〉をメールにてお送りしますので、手続きをお願いします。

着金確認後、〈ご購入完了〉のメールをお送りします。

■申込締切日:各回実施の2日前

■お問い合わせ:清流劇場 e-mail:info@seiryu-theater.jp phone:080-2487-1347

web:https://seiryu-theater.jp

■表紙絵:政野裕果

■企画・制作:一般社団法人清流劇場